日本から近く時差も少ない、台湾への進学

今から目指す、海外大学等進学（台湾）

台湾への大学等進学について

近年、高校卒業後の進学先として、台湾への留学が注目されています。日本から距離が近いため時差がマイナス 1 時間と少なく、中国語・英語による教育が受けられるという特徴があります。また、親日家が多いことでも知られています。

台湾の大学の制度

台湾の大学は、学士課程は 4 年間で修了します（医学部等、一部の学部を除く）。新学年のスタートは 9 月で、2 学期制です。1 学期は 9 月～1 月、2 学期は 2～6 月です。

幅広い分野が学べる総合大学と、職業に直結する専門的な知識やスキルを学べる科技大学があり、それぞれ公立と私立があります。

	総合大学	科技大学
公立	34校	15校
私立	37校	59校

授業で使用される言語

授業は基本的に中国語で行われます。

大学によっては全て英語のみで学べるコースや、初年度は英語または中国語に専念し、2年目以降に通常の大学の講義を履修するコース等も設けています。

全て英語での授業のコースを希望する場合は、通常、英語検定試験のスコアが求められます。

中国語検定試験

大学によっては中国語検定試験のスコアが必要です。多くの大学で採用されているのは、台湾華語文検定（TOCFL=Test of Chinese as a Foreign Language）ですが、その他の検定試験も大学やプログラムによっては認められています。

求められるレベルもそれぞれ異なるので、確認しておくことが大切です。

語学力が不足している場合には、大学付属の中国語センターで語学力を高めてから進学することもできます。

出願の必要書類

多くの大学には「外国人学生枠」が設けられており、入試はなく、書類審査等の審査で入学することができます。

申請に必要な書類は、大学により異なります。各大学のウェブサイトに掲載されている募集要項を早めに確認しておきましょう。一般的な必要書類は下記のとおりです。

・入学申請表
・最終学歴証明書及び成績証明書
・財力証明書（銀行口座残高証明書）
・パスポートコピー

スケジュール

大まかには以下のようなスケジュールで準備を進めます。台湾留学を志したら、まずは日常生活にも必要となる中国語の勉強から始めましょう。

約１年前	中国語の勉強を開始
↓	
	中国語検定試験の受験（コースにより英語検定試験を受験）
２月	希望する大学を決め、申請書類を準備
↓	
３月～5 月	希望大学の申請受け付け時期を確認し、書類申請 （申請時期は大学により異なります。）
↓	
	合否発表 （発表時期は大学により異なります。）
９月	入学・新学期